

2023年1-3月期 GDP1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長:藪田健二)は、内閣府より5月17日(水)に公表予定の2023年1-3月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。

2023年1-3月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.3%(年率+1.2%)と予測します。

2023年1-3月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.3%(年率+1.2%)とプラス成長を予測する。

民間最終消費は、同+0.3%と予測する。物価高による下押しはあるものの、感染の落ち着きに伴ってマインドが改善するなか、飲食や娯楽などの外出関連サービス消費が回復したとみる。設備投資は、同+1.0%と予測する。人手不足に対応するための省力化投資に加え、デジタル化・脱炭素に向けた投資などが拡大したとみる。

輸出は、同▲2.7%と6四半期ぶりの減少を予測する。中国向けがゼロコロナ政策緩和に伴う混乱から大幅に落ち込んだことに加え、米欧向けも金融引き締めの影響から増勢が一服した。輸入は、新型コロナワクチン購入が減少した影響もあり、同▲1.8%の減少を予測する。外需は▲0.2%ポイントのマイナス寄与を見込む。

図表 2023年1-3月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比(%)		2022年				2023年
		1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 予測
実質GDP		▲0.5	1.2	▲0.3	0.0	0.3
	季調済前期比年率	(▲1.8)	(4.7)	(▲1.1)	(0.1)	(1.2)
民間最終消費		▲0.9	1.6	0.0	0.3	0.3
民間住宅投資		▲1.7	▲1.9	▲0.4	0.0	▲0.9
民間企業設備投資		▲0.3	2.1	1.5	▲0.5	1.0
民間在庫	寄与度	0.7	▲0.3	0.1	▲0.5	0.1
政府最終消費		0.5	0.8	0.1	0.3	0.1
公的固定資本形成		▲3.2	0.6	0.7	▲0.3	0.9
財・サービス 輸出		1.1	1.5	2.5	1.5	▲2.7
財・サービス 輸入		3.8	0.9	5.5	▲0.4	▲1.8
内需	寄与度	0.0	1.0	0.3	▲0.3	0.5
民需	寄与度	0.1	0.9	0.3	▲0.4	0.4
公需	寄与度	▲0.1	0.2	0.0	0.1	0.1
外需	寄与度	▲0.5	0.1	▲0.6	0.4	▲0.2
名目GDP		0.2	1.0	▲0.8	1.2	1.9
	季調済前期比年率	(1.0)	(4.3)	(▲3.2)	(4.7)	(7.7)
GDP デフレーター	前年同期比	0.4	▲0.3	▲0.4	1.2	2.1
国内需要 デフレーター	前年同期比	2.6	2.7	3.2	3.4	3.0

注:シャドー部分が今回の予測値。

出所:実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 菊池紘平 田中嵩大 堂本健太
電話:03-6858-2717 メール:pecmacro@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部
メール:media@mri.co.jp
